

観察  
調査活動

## 水生生物の観察・調査

37

## 1 活動のねらい

水生生物の採取、観察を通して、水生生物の生態について知ります。

## 2 育てたい能力

B2 自然への関心

A6 視野・判断

※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

## 3 活動場所

砥沢

## 4 活動時期

4月～10月中旬

## 5 所要時間

2～3時間

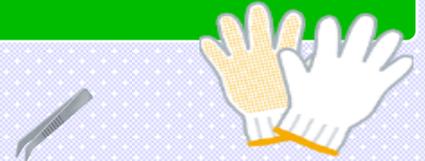
## 6 指導形態

団体の引率者が指導者となって行う活動

## 7 準備物

【団体・個人で準備するもの】

・軍手 ・筆記用具 ・観察用紙 ・活動に適した服装



【自然の家で貸し出しできるもの】

・採集ネット ・バット ・ミルカップ ・ルーペ ・ピンセット ・図鑑  
・無線機1台（自然の家と団体との緊急連絡用） ・熊鈴 ・ライフジャケット ・ヘルメット

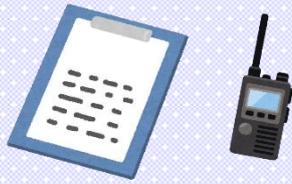
## 8 活動の手順

(1) 事前

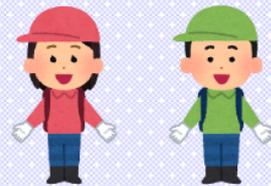
- ①自然の家職員と打ち合わせを行い、実地踏査で現地の状況を把握した上で計画を立てます。
- ②安全確保のため、服装や準備物についての事前指導を行います。
- ③必要に応じてグループ編成をしておきます。

## (2) 活動

①出発にあたって、自然の家事務室に報告し、用具を借ります。



②人数確認、服装・装備・持ち物の点検、健康状態のチェックをします。



③活動のねらいや注意点を説明します。



④観察ポイントまで歩き、森林の様子を観察します。



⑤観察ポイントで石を裏返し、岩石に付着している水生生物を網で採取します。



⑥水生生物をバットやミルクカップに移し、水生生物の写真資料で水生生物の種類（名前）を調べます。



⑦採取した水生生物を観察し色鉛筆でスケッチします。



⑧採取した水生生物から、沢の汚れ度を考えます。



⑨森林と沢の環境について話し合い、郷土の環境と比較します。



⑩自然の家へ戻ります。



⑪自然の家事務室に活動終了の報告をし、借用物品を返却します。

## 9 留意点

- 沢の石は滑りやすいので、石の上には乗らないでください。
- 沢の中を歩く場合はシューズを履き、沢底を歩くようにしてください。
- 全身が水に入ってしまった場合、足を下流に向けましょう。
- 石を移動し水生生物を採取し観察した後は、石や水生生物を元通りに沢に戻してください。